

自治会(読み)じちかい

日本大百科全書(ニッポニカ)「自治会」の意味・わかりやすい

解説

地縁団体の一つ。一定の区域の世帯や事業所が参加し、地域的な課題に主体的に取り組みながら区域の管理にあたる[自治組織](#)である。自治会には、地方自治法などに規定された要件を満たし、土地や建物などの不動産登記や財産所有が可能な法人格をもつ認可地縁団体と、法律上の権利や義務の主体とならない権利能力なき社団に位置づけられる団体の2種類がある。総務省の2013年(平成25)の調査によれば、全国で29万8700の自治会や町内会などの地縁団体が存在する。名称に関する定義はなく、ほかに町会、区会、区などの呼称が用いられている。なおここでは、[学生自治会](#)などには触れない。

歴史的にみると、近隣の互助組合であった隣保組織を基盤として、1940年(昭和15)に行政組織としての町内会、その下部組織としての[隣組](#)が全国的に整備された。これらの組織は、終戦後の1947年(昭和22)に廃止されたが、形式上解体されたものの、その[枠組み](#)だけは地域に残った。そして、占領下の法的規制が徐々になくなると、以前の枠組みに基づいて、町内会として復活させる地域があらわれたほか、町内会の連合組織や、団地管理組織、マンションの管理組合などの新たな地縁団体がつくられ、自治会という名称が広く用いられるようになった。このような経過をたどった地域は多く、場所によっては、町内会にあたる団体を行政区自治会、隣組にあたる団体を集落自治会とよび、現在も上下関係が存続しているところもある。

今日の自治会は、地域の課題解決や地域文化の継承、[住民の親睦](#)(しんぼく)といった活動のほか、市区町村から住民への情報伝達をはじめとする、行政と住民の連絡窓口としての役割を果たしている。おもな活動として、以下のようなものがある。(1)市区町村からの依頼への対応や住民への情報伝達。(2)ごみ集積所の共同管理、清掃や防犯などの取組み、伝統行事などの運営。(3)社会福祉や募金運動などへの協力。(4)地域の要望の合意形成や自治活動。このような活動に加え、地域の安全管理や自主防災の取組み、独居老人や老老介護などに対する住民同士の見守りと助け合いなど、新たな地域的課題にも対応が必要とされる。しかし、自治会などの地縁団体への加入率は、全国的に年々低下しており、構成員の高齢化や担い手不足が深刻な状況にあるため、従来の地域活動さえ維持できなくなっている団体が少なくない。今後はこれまで自治会とは異なるコミュニティであった消防団、婦人会、PTA、福祉関係団体などが、一つの枠組みの[なか](#)で協力しあうことが重要な課題となっている。

[編集部 2016年6月20日]

【そもそも解説】自治会、入退会は自由だけど…

役所からの依頼業務も

自治会・町内会の運営が曲がり角を迎えています。役員は高齢化し、担い手は不足。自治会はどんな組織で、なぜ生まれたのか。必ず入らないといけないのか。自治会の「そもそも」を解説します。（篠健一郎）

● 「10年すれば自治会は消滅」 タワマン横の巨大団地、住民の危機感

Q 自治会って、どういう組織なの？

A 地域の人たちが集まって作る団体で、呼び方は「町内会」「町会」などいろいろあるよ。国の調査では、全国に約30万。参加したい人が集まるサークルのような位置づけで、法律などでやるべきことが決まっているわけじゃないんだ。お祭りや運動会などの行事で住民同士が交流したり、地震（じしん）などの災害が起きたときに助け合ったり。地域で問題が起きた時に、市や町などに住民の意見を伝える機能も果たしている。

● 「役員ばかり負担」「なぜ強制？」 自治会に募る不公平感と不透明感

Q 絶対入らなきゃいけないの？

A 加入や退会は自由だけど、全員入るのが当たり前のようになっている地域もある。こんな地域の仕組みは世界でも珍しいんだ。大正から昭和に、都市に人が集まり知らない人同士が同じ町に住むようになった時に、不安を解消し、協力しあうためにできた仕組みだ。戦時中には、国が国民を戦争に協力しやすくするため、自治会の下に「隣組（となりぐみ）」を置いたこともある。

Q 地方自治体とはどういう関係なの？

A ごみ集積所の管理や広報誌（こうほうし）の配布など、地方自治体がいろんな仕事をお願いしているよ。中には、民生（みんせい）委員など、責任が重いものもある。一部は経費が出るけど、ボランティアの仕事も多い。住民が高齢化（こうれいか）したり、共働きが増えたりして、役員の仕事をできる人がいないとなやむ自治会も増えているんだ。

Q 大変だね。自治会がなくなると困るのかな。

A 住民同士が日頃から顔を合わせる機会がないと、災害や問題が起きたとき、協力するのが難しくなってしまう。ただ、自治会だけではなく、NPOなどいろんな力を集めることが大事だといわれているよ。参加しやすいように、仕事を減らしたり、会議をオンラインにしたりする工夫も大切だね。（篠健一郎）